

統合科目	栄養学・栄養指導
------	----------

[講義] 第3学年 後期 必修 4単位

《担当者名》歯学部教授 / 荒川 俊哉

【概要】

一学年および二学年で学習した生化学/栄養学・栄養指導の知識を復習・整理し国家試験にそなえる。

【学修目標】

国家試験の出題内容を正しく理解し解答できるようになる。

歯科衛生士として、栄養指導を十分習得し、卒業に値する総合的知識を身につけること。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 { 5	栄養学・栄養指導 1. 食事摂取基準 2. 基礎代謝 3. 推定エネルギー必要量 4. 5大栄養素 5. 水と食物繊維 6. 食生活の概要 7. 食品 8. 食品のう蝕誘発性 9. 咀嚼と食品 10. 栄養指導法 11. 特殊患者への食事指導	● 栄養素の役割に関する知識を整理する。 ● 基礎代謝量の知識を再確認する。 ● 栄養所要量に関する知識を整理する。 ● 糖質、脂質、タンパク質、ビタミン、ミネラルの働きを整理する。 ● 水と食物繊維の働きを整理する。 ● 正しい食生活の実践、習慣化と食品との関係を理解する。 ● 正しい食生活の形成に口腔の諸機能、とくに咀嚼や味覚などが重要であることを学ぶ。 ● 個人のもっている食事や栄養の問題を把握して個人差に基づいた食事指導によって積極的に歯科疾患の予防に役立てることによって口腔衛生の向上と全身の健康保持・増進をはかることを学習する。	荒川 俊哉
6 { 10	生化学 1. 生体の構成成分 2. エネルギー代謝 3. 生体の恒常性維持 4. 遺伝 5. 結合組織 6. 骨と歯 7. 唾液とプラーク	● 生体の構成成分には何があるかを理解しその働きについて整理する。 ● 生体の恒常性の維持について理解し、その意味を整理する。 ● 遺伝の仕組みを理解し、その知識を整理する。 ● 結合組織とは何かを理解し、その知識を整理する。 ● 硬組織である歯と骨の成り立ちを理解し、その役割について整理する。 ● 唾液の役割を理解し、その知識を整理する。 ● プラークの成り立ちを理解し、その知識を整理する。	荒川 俊哉

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

卒業試験 100%

【教科書】

歯科衛生士教本 人体の構造と機能2「栄養と代謝」 医歯薬出版

【備考】

プリント

【学修の準備】

前年度までの教科書および講義資料、プリントを整理し内容について復習しておく。（各60分）